

長久手市行政評価票

事業番号	23	事業の名称	防犯啓発事業		担当部署	部	課
				くらし文化部		安心安全課	

事業の概要	防犯意識向上の普及・啓発のため、街頭活動やキャンペーンの実施、児童、高齢者、市民を対象とした防犯教室の開催等により、市民の防犯意識の啓発、地域の絆づくりを推進し、犯罪抑止に努める。また地域の自主防犯ボランティア団体の設立支援、育成を行い、地域防犯を推進する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	国、県始め各市町村で実施されている。						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民					うち	一般財源	934	682	712	601	809
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	犯罪被害に遭わないよう、防犯意識の向上。						国費・県費	934	682	712	601	809
							地方債					
						その他						
						受益者負担額						
評価の見方												
A 現行どおり実施												
B 事業の改善												
C 他事業と統合												
D 運営主体の見直し												
E 事業の廃止の検討												

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	H25目標値	単 位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算			H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)
① 防犯啓発事業	全市民に	● ● ● ● ●				防犯意識の向上	防犯教室延べ参加者619人、キャンペーン実施回数延べ3回	刑法犯の犯罪発生状況	962	885	950	件	県下で大幅に減少した前年実績(平成24年:962件)から1%の減少	687	599	544	590	565	A 拡充 維持	時代の情勢により様々なに変化する防犯上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施してゆく必要があるので、効果的な方法を模索しながら周知啓発に努める。具体的には、警察、地域ボランティアと連携を図り、地域住民の防犯意識向上、啓発に努める。
② 子どもの防犯啓発事業	長久手市民(在園、在学者含む)に	● ● ● ● ●				防犯意識の向上	防犯ブザー692個、啓発冊子692冊配布	刑法犯の犯罪発生状況	962	885	950	団体	県下で大幅に減少した前年実績(平成24年:962件)から1%の減少	※上記に含む	※上記に含む	※上記に含む	※上記に含む	※上記事業費に含む	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
③ 自主防犯活動支援事業	自主防犯ボランティア団体をはじめとする市民に	● ● ● ● ●				自主防犯活動の活性化、地域との連携強化	自主防犯ボランティア連絡会議の開催(1回、参加11団体)、団体会議への職員の出席26回、防犯ボランティア養成アカデミーの開催(1回、参加者44人)、活動支援資機材の提供	市自主防犯ボランティア登録団体数	18	20	20	団体	地域住民と市と連携し、活発な自主防犯活動を期待できる目安の数	247	83	168	11	244	A 維持 削減	連絡会議やボランティア養成講座等で、積極的な団体の活動紹介事例に触発される他団体があった。資機材貸与充実、防犯情報提供、地域会合への職員参加の積極的参加、他機関との仲介等で、世代交代に悩む団体のフォローをしつつ、新たな地域ボランティア立ち上げを支援する。
④																				

事務事業の 改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)		H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要